

えりもの地域資源の掘りおこしと活用 さるる 北海道えりも町

～猿留山道を中心に～

えりも町郷土資料館N42°の会

手づくり郷土賞

講評

一般部門

大賞部門

資料集

えりも町の「猿留山道」は江戸幕府によって北方警備に不可欠な道路として開削された北海道初の官営道路の一つであり、北海道（東蝦夷地）の開拓に重要な役割を果たした道路です。

この「猿留山道」が現存していることに町民が気づいたことをきっかけに地域資源として活用しようとして平成9年から町民有志による「猿留山道」の調査、復元活動が始まりました。

平成13年には、「猿留山道」を中心にえりも町の特異な地域資源を掘りおこし、活用することによる地域活性化を目的として、地域住民を中心とした会員19名（現在37名）による「えりも町郷土資料館N42°の会」が発足しました。

当会では、えりも地域の自然・歴史・文化についての調査や地域内外のボランティアによる「猿

留山道」の復元、維持管理活動を行い、山道は江戸時代の風景を残しながら一般の方々が山道歩きができるまでに整備され、平成21年には一部の区間がえりも町文化財（史跡）に指定されています。

また、町内広域の散策路（フットパス）整備活動を行い、周辺地域の山道復元活動と連携するなど広域的な取組を進め、北海道内のボランティアによるフットパスづくりの先駆的な活動となっています。

さらに地域資源を活用した体験学習の実施、海岸緑化への協力など様々な活動により、地域住民にふるさとえりもの原風景を伝えるとともに、観光地としての価値を高め地域活性化に寄与しています。



ボランティアによる猿留山道の復元、維持管理活動風景



地元小学生の山道復元活動への参加風景



猿留山道に設置された手づくり案内板や届出箱



上：案内板
左：利用届出箱



地域の子供達の自然海浜での体験学習風景



えりも町(猿留山道・フットパスコース)

- ◆所在地
北海道幌泉郡えりも町内全域
- ◆活動内容
猿留山道の復元、維持管理活動（毎年1回猿留山道復元ボランティア事業を実施）
自然・歴史・文化資源を活用した体験学習（「わらじゃんど・えりもまるごと自然体験」事業）、フットパスコース整備活動
- ◆活動主体名
えりも町郷土資料館N42°の会
- ◆連絡先
えりも町郷土資料館N42°の会（えりも町郷土資料館内）
01466-2-2410

